

中学校英語情報誌

Sunshine Letter

先生方に
役立つ情報を
お届けしています。



ガイドキャラクター
サンシャインくん

効果的に
言語材料を
導入したい！
～ Scenesの活用～

2023.7

Vol. 4

Sergey Nivens/Shutterstock.com

中学校で実際に使用されているワークシートをご覧ください！

本資料は「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

Sunshine
Letter

は
Webコンテンツと
連動しております。

KAIRYUDO

今回のテーマは…

効果的に言語材料を 導入したい！

～Scenesの活用～

テキストは練習本ではなく、ドラマの「脚本」なり

Pinch (つねる)、“Ouch!” (痛っ!)。この“Ouch!”はどのタイミングで言えばよいだろうか。同時には言えないし、2秒たってから言うのも変。まして、棒読みで言うなんてことはありえない。では、次の文はどうだろう。

“Excuse me, will you explain today’s special lunch, please?”

“Excuse me.”は、相手の注意を引くときに使うことば。だとすると、接客係が来るまで待ってからでないと、will 以下の文は言えない。そうでないと不自然だ。日常では当たり前に行われていることが、テキストでは途端にディスプレイに変身する。教師の関心がコミュニケーションではなく、知識に向かっているからだ。

テキストの英文はドラマの脚本そのもの。本文の内容を理解したあと、「演読(ドラマを演じるように読むこと)」を繰り返せば、生徒は英語の語順のまま、ことばの機能について理解できるようになる。そのような指導が、生徒の「思考・判断・表現」の力を育てる。教師の推論発問や評価発問を受けて、学習

者が「脚本」を何度も読み込むようになれば、自然と読解力も身についていく。

SUNSHINEのコーナーの一つであるScenesも同じ。訳や説明ではなく、どんな「場面」なのかを想像する、登場人物の心情を読み取る、オリジナルの英文やセリフを付け足すなど、教師が発問や課題さえ工夫すれば「生きたことば」を学ぶ格好の教材となる。

中嶋 洋一

「英語わくわく授業研究所」代表

元関西外国語大学教授。対面でのセミナーや校内研修の講師だけでなく、全国の教師をつないだオンライン研修会(月例会)なども行っている。



中嶋先生のホームページ
「なかよう備忘録」はこちら
(nakayoh.jp)



CONTENTS

02 巻頭言 … 中嶋 洋一

04 RECOMMEND
私のScenes指導法 … 平良 聖子/吉門 玲子

06 特集
アウトプットの架け橋となる
Scenesのアクティブな活用法
～言語活動を通してことばの使い方を学ばせよう～
… 胡子 美由紀

08 おしえてアリソン先生 … 長谷川 アリソン
知っておきたい特別支援教育 … 飯島 睦美

私のScenes指導法

中学校で指導されているお二人の先生に、Scenesの指導法をシェアしていただきました。

平良 聖子

沖縄県南城市立
知念中学校教諭



石垣島で生まれ、埼玉県の大学に進学。吹奏楽やジャズに親しみ、大学2年生の頃、オレゴン州の大学に1年間留学した。現在は、沖縄県南部に位置する中学校で、英語担当として教鞭を執る。校区内には世界遺産の斎場御嶽(せーふあーうたき)がある。

目的に応じてScenesをアレンジ

Scenesは、多様な活動にアレンジできます。本稿では、私がScenesを授業で指導する際の流れを、3つの目的別にご紹介します。

1 新出の言語材料に自然に出会う

ScenesのQRコンテンツでは、教科書の2コマ漫画がそのままアニメーションになった動画を視聴できます。アニメーションにより、生徒は登場人物の動きや表情の変化な

どから話の概要をより捉えやすくなります。また、そのPROGRAMで学習する言語材料の使用場面を生徒が十分に理解したうえで新出の言語材料を学ぶことができるため、生徒は、よりコミュニケーションの場面を意識しながら活動に取り組むことができます。

2 ディクテーションの材料として

Scenesは、音声のみ聞かせることでディクテーションの材料としても活用できます。新出の言語材料が含まれていますが、ストーリーは短いので安心です。生徒が聞き取れる単語数が増えてきたらチャレンジしてみましょう。ハードルが高そうな生徒には、動画を視聴させてから再度取り組ませます。視覚的に内容を理解することで、活動の難易度を下げることができるためです。

3 リテリングの材料として

ペアでScenesの話の内容を確認したあと、その内容についてリテリングを行うこともできます。新出の言語材料の使用場面や、その表現が含む意味を考えながら話すので、理解が深まります。

Scenesは、教科書で学習する言語材料と実際のコミュニケーションをつなぐ、橋渡しとなってくれます。目的に応じて、Scenesをアレンジすることをおすすめします。

▼ 図1 SUNSHINE 1 PROGRAM 2 Scenes 1

生徒への指示例

— Let's watch "Scenes" together. I want you to check what they say and the meaning.
I have questions for you.

— What fruit does she eat for a snack? How many apples does she have for a snack?

— How many bananas does he have?

Oh, I don't like apples.

I have an apple for a snack.

I eat five bananas for a snack.

Scenesのアニメーションはこちらから視聴できます。

▼ 図2 SUNSHINE 2 PROGRAM 1 Scenes 1 ディクテーションシート例

生徒への指示例

— Listen carefully and fill in the blanks. We will learn a new grammar. Though you'll find it difficult, don't give up and give it a try.

You play the guitar well.

Thanks. () have a concert with Joe next Sunday.

() he () sing?

Yes, he's a good singer.

▶ 生徒が思わず伝え合いたくなる Scenesの活用方法

Scenesでは、新出の言語材料が漫画形式で提示されています。イラストを頼りに意味を推測し、「目的や場面、状況」を明確にしたうえで表現の導入を行うことができます。

このScenesを活用することで、コミュニケーションを重視した場面シラバスの指導がしやすくなりました。本稿では、これまでの実践から2つの活用方法をご紹介します。

1 2コマ漫画をShort Talkに

- ①動画を視聴し、ペアで内容を推測する
- ②Small Talk【教師と生徒】
- ③再度動画を視聴し、やり取りに使った語句を確認する

④ Short Talk【ペア】

①では、文脈をつかみます。②、③で目的や場面と言語材料が繋がったら、④のShort Talkで自分のことに置き換えて、友だちやALTとやり取りをします。コミュニケーションの中で生徒の気づきを知識に変えて定着させるプロセスを大切にしています。

2 Scenesをゴールにつなげる

- ①動画を視聴し、ペアで場面を推測、全体で確認する
- ②海外から送られてきた「友だち紹介」の動画を視聴する
- ③共通の表現を確認する

吉門 玲子

福岡県八女市立
星野中学校主幹教諭



平成31(2019)年、令和3、4(2021、2022)年の3年間、福岡県外国語科(英語)コア・ティーチャーとして英語指導力向上のための実践や指導助言を実施。

④ペアで互いを紹介し合う動画を作成する

ここで紹介するのは動画投稿サイトFlipを通じて海外の中学生との交流を行う際の導入に用いた方法です。Scenesと同じ表現を使って海外の学校に動画を作成してもらい、比較しながら文脈をつかみます。目的は同じでも違う場面でのやり取りのため、生徒はコミュニケーションの場面から表現を理解していきます。伝える相手を海外の中学生と明確にすることで、コミュニケーションの真正性がある活動へとつなげます。

最後は単元末の「英語のしくみ」で言語材料を定着させます。その際、ポイントは空欄にし、生徒に考えさせます。生徒にポイントを自分のことばで述べることで、その言語材料の構造や使用場面を頭の中で整理することができます。

生きた場面の中で生徒自らの気づきを促し、思わず英語で伝え合いたくなるコミュニケーションの種を、Scenesを通してこれからも蒔いていきたいと思っています。

▼ 図1 SUNSHINE 3 PROGRAM 3 Scenes 1 活動用ワークシート

Program 3 Scenes 1

Listen 動画を視聴し、内容についてわかったことや聞き取った英単語などをメモしよう。

Listen & Write Listen to the conversation and fill in the blanks.

- ① Hi, are you a _____? I'm Ami.
- ② Hi, Ami. Yes, I'm _____. I'm Alexander.
- ③ _____ me?
- ④ Alexander. Please _____ Alex.

Short Talk

Your name	Your teacher	Your friend	Your favorite person
What to call?			

Your friend's name

What to call?		
---------------	--	--

<Expressions>
 ・This is my (favorite) ~. ・What do you call him[her/it]? ・I call him[her/it] ~.

Reflection

わかったこと	疑問に思ったこと
--------	----------

POINT
Scenesのやり取りを確認

POINT
上のScenesの英文を参考に友だちやALTとやり取り

特集

アウトプットの架け橋となる Scenesのアクティブな活用法



～言語活動を通して
ことばの使い方を学ばせよう～

胡子 美由紀

広島県広島市立
美鈴が丘中学校教諭



Profile

広島大学卒業後、広島大学附属東雲中学校を経て現在校へ勤務。SUNSHINE ENGLISH COURSE 著者。研究会をはじめ教員研修会の講師を務める。著書やDVD多数。

はじめに

「中学校学習指導要領」(以下、CS)が全面実施され3年目を迎えました。先生方はどんなチャレンジをしてこられたでしょうか？ CSに基づいた指導を実現するキーポイントは「説明型の授業から思考力・判断力・表現力等を高める指導にシフトすること」と、「技能統合型の言語活動で生徒の主体性を引き出す指導を重視すること」です。要は、言語活動と切り離された導入や文法解説ばかりでアウトプットがない授業からの脱却です。それは高いハードルだと思われる先生の強い味方になるのが、SUNSHINEのScenesです。対話型の活動を繰り返しながら、生徒の発想力、連想力、発信力、瞬発力、そして発話力を鍛えることができます。本稿では、その特長と活用法を紹介します。

Scenesの3つの特長

- 1 言語の使用場面が明確であるため日本語を使用する必要がないこと
 - 2 言語材料をまとめて導入できること
 - 3 学習後、すぐに自然なやり取り活動ができること
- まず、3つの特長の1点目です。2コマ漫画で、新出の言語材料が使われている場面と状況を視覚的につかませることができます。わくわくする視覚情報が生徒の興味を刺激します。Scenesのやり取りは、実際のコミュニケーションの目的や場面、状況を想定した対話形式になっています。言語材料を整理し、理解を深めるためです。また、PROGRAMごとに漫画のストーリーがつながっているので、楽しみながら読み進めることができま

す。スローラーナーにとって取り組みやすく、やってみようという意欲を喚起します。

2点目の特長は、言語材料をまとめて導入できることです。その後のThink(本文)を連続で読むことができ、授業の流れがスムーズになります。本文のストーリーが細切れにならず、内容に特化して思考力と読解力を鍛えることができます。集中して読めるので、時間の節約にもなります。

最後は、言語材料をまとめて学ぶことで、すぐに自然なやり取りを行えることです。体系化した指導で、バラエティー豊かな表現活動に取り組みます。

Scenesは自己表現の土台としてご活用いただきたいと思います。最後は暗唱や、オリジナルスキットなどのアウトプットを通して、生徒の思考力・表現力を育てていきましょう。

授業での活用法

ここでは特に、冒頭に挙げた指導の2つのキーポイントを具現化するScenesの活用例を紹介します。図1のどの組み合わせで行っても、慣れてくると10～15分で行えます。生徒の実態と目的(付けたい力)に合わせ、アレンジしてご活用いただければ幸いです。

図2では、SUNSHINE 2 PROGRAM 4 Scenes 1を使った例を紹介します。生徒の柔軟で独創的な発想で紙面のセリフとのギャップを生み出し、言語材料を落とし込むのが目的です。

▼ 図1

導入(気づく・考える)	練習(取り込む)	アウトプット(表現する)
<ul style="list-style-type: none"> リスニング(視覚情報なしで音声から内容を推測する) リーディング(開本もしくはデジタル教科書で漫画をそのまま見せる) セリフの一部をブランクにして、入る語を考える(ハンドアウト作成もしくはデジタル教科書のセリフをマスキング) セリフの一部をブランクにして、イラストから対話の内容(英語)を考える 背景イラストから場面や状況を推測する 動画から場面や状況を推測する 登場人物の関係性や性格を推測する 	<ul style="list-style-type: none"> ペア(グループ)で音読練習 タブレットを利用し、生徒用デジタル教科書で練習 ジェスチャーを使い再現練習 イラスト(動画)を使いシャドーイング 	<ul style="list-style-type: none"> アフレコ (映像の音声をミュートにしてセリフを言う) そのままスキット (やり取りをそのまま再現して演じる) アレンジスキット (場面や状況に変化を加えて演じる)
		アウトプット後 <ul style="list-style-type: none"> 対話の前後のセリフを考える

※できる限りイラストや登場人物のやり取りの流れから推測させ内容確認を行いましょう。

※練習前やアウトプット前に行う発問で思考力を鍛え、進んで読む態度を醸成することができます。「間をとるならどこでしょう?」「この子が●●と言ったのはなぜでしょう?」「二人はどういう関係でしょう?」「いつ(どこで)話をしているのでしょうか?」「どのように言えばいいでしょう?」など生徒に自分で判断する機会を与えると、進んで内容理解と解釈を行うようになります。

※段階を踏み、協働で考え練習する過程で、生徒たちに任せる場面を増やしていきましょう。

▼ 図2

導入 吹き出しを抜いた2コマ漫画を見せ、発問を行う。

T: Look at the picture. Who is this girl? Who is this boy? Imagine their relationship.

S1: She is He is
名前を自由に付けさせます They are friends.

S2: I think they are a brother and a sister.
やり取りしながら想像を膨らませます

T: Why do you think so?
 S: Because she looks young.
 T: Oh, she looks younger than this boy. OK. Where are they now?
 S: They're at the shop.
 T: Why are they at the shop? How much are these cups? など
イラストの情報からわかることを引き出していきます (以下省略。右のQRコードから完全版が見られます。)

練習 音読(音声確認&リピート)→役割→ジェスチャー→マスキング→セリフ抜きなど

アウトプット アフレコ(文字あり→文字なし)

最後に

材料(内容)は同じでも、調理法(内容への切り込み方)と、完成形(育てたい生徒像をイメージし何をできるようにさせたいか)で仕上がりが異なります。言語習得は“Learning by doing.”。ことばは使いながら身につけていくもので、文脈(場面)の中でしか意味をもちません。

対話形式のオーセンティックな場面の中で、生徒が言語材料の使用場面を自然な形で理解し、自信をもってアウトプット(ThinkやOur Projectでの出力)に向かえるようにScenesを活用していきませんか? さあ、先生方の腕の見せどころです。



おしえて

アリソン先生



長谷川 アリソン 立教大学特任教授

1989年から福島県内の小・中学校で英語を指導。2012年から2022年まで宮城教育大学で英語指導法などを指導。現在は立教大学の特任教授。

第4回 BとVの発音

ネイティブスピーカーの長谷川アリソン先生による「英語の発音指導法5分間動画」を全4回で連載中です。スキマ時間にぜひご覧ください！
最終回の第4回は、日本人にとって難しいとされている「BとVの発音」について、授業ですぐに使えるフレーズを用いながら解説いたします。

この動画へのリンクはこちら



知って
おきたい

特別支援教育

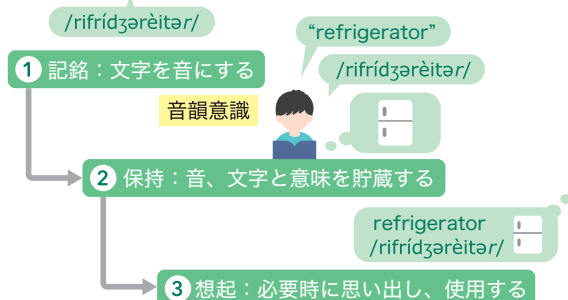
第4回 何につまずく — 単語学習

高校生215名に「英語学習で最も難しいこと」を尋ねました。最も多かった回答は「英単語の暗記」でした。記憶の仕組みから、英単語refrigeratorを例に、単語学習のつまずきを解消する手立てを考えましょう。

記憶は3段階で構成されています。第1段階は、出合った情報を記憶に取り込めるように変換する「記録」の段階です。refrigeratorを「リフリジレーター」という音にすることが相当します。この段階では、音と文字とを関連づける音韻認識の力が必要です。

続いて、頭の中で音と意味とを結びつけながら復唱し、知識として貯蔵しようとします。これが「保持」の段階です。この段階ではまだ記憶することができたとはいえません。refrigeratorを見て発音や意味を思い出せること、つまり、貯蔵された知識の中から、必要なときに必要な情報を取り出すことができ初めて記憶が

例 “refrigerator” を暗記する際



成功しているといえます。これを「想起」といいます。

音韻認識に弱さのある生徒は、授業中に提示された単語をいくら復唱しても、帰宅後に単語を見て音にすることができません。指導においては、記憶の第1段階をクリアしているかを確認することが重要です。

飯島 睦美 群馬大学 大学教育センター教授

英国バーミンガム大学修士。大阪大学
大学院人間科学研究科博士後期課程単位
満期取得退学。



中学校英語情報誌

非売品

Sunshine Letter Vol.4



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111

2023年7月13日印刷 2023年7月21日発行 編集兼発行人 岩塚太郎

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎ (03) 5684-6121 (営業)、5684-6118 (販売)、5684-6115 (編集) <https://www.kairyudo.co.jp/>

北海道支社	〒060-0042	北海道札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階	☎ 011-231-0403
東北支社	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階	☎ 022-742-1213
名古屋支社	〒461-0004	愛知県名古屋市中区東区葵1-15-18 オフィスサンナゴヤ9階	☎ 052-908-5190
大阪支社	〒550-0013	大阪府大阪市西区新町2-10-16	☎ 06-6531-5782
九州支社	〒810-0075	福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階	☎ 092-733-0174